

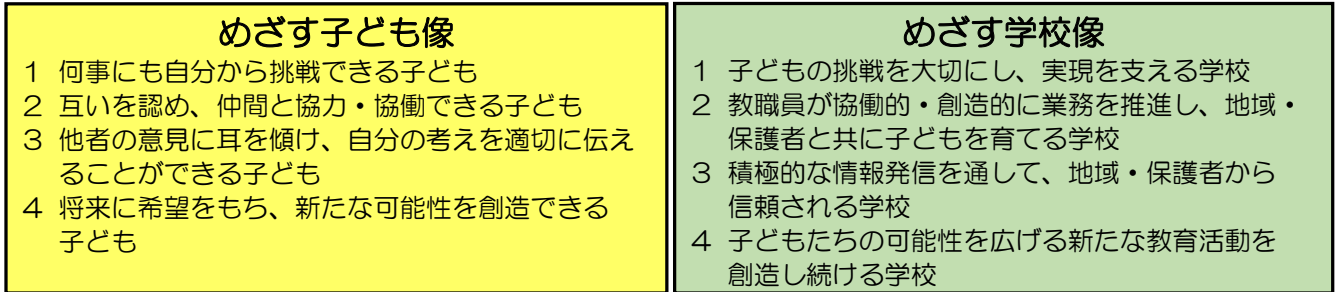
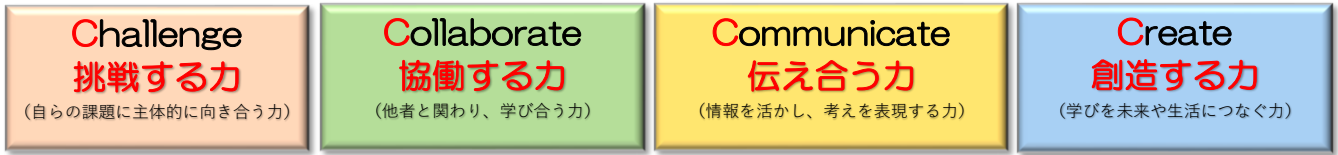
北海道旭川盲学校 令和8年度学校経営方針

【学校教育目標】

自ら学び、考えを深め、広げ、自らの人生を切り拓いていく子ども

〈令和7年4月1日改訂〉

教育の柱 ～4つのC～



学校経営のビジョン	
教育方針	経営方針
<p>4つのC (Challenge・Collaborate・Communicate・Create) を柱として、子ども一人一人の可能性を伸ばす教育活動を推進する。</p> <p>1 Challenge (挑戦する力の育成) 学校教育目標の実現に向け、子ども一人一人が自らの目標やめあてをもって学習に取り組み、主体的に学ぶことのできる学習環境の中で、何事にも挑戦する気持ちや態度の育成を図る。</p> <p>2 Collaborate (協働する力の育成) 個別最適な学びと協働的な学びの実現を図るため、子ども一人一人の実態に応じた適切な指導と学習環境の構築に努め、互いを理解し、協力・協働できる態度の育成を図る。</p> <p>3 Communicate (伝え合う力の育成) ICTや支援機器を効果的に活用し、視覚特性に応じた情報の選択・活用を通して、自分の考えを表現し、他者と伝え合う力を育成する。</p> <p>4 Create (創造する力の育成) 将来の自立や社会参加を見据え、子ども一人一人の発達段階に応じた計画的なキャリア教育を推進し、自らの生き方や将来を主体的に創造する力を育成する。</p>	<p>4つのCを基軸とした教育方針の実現に向け、組織的・計画的な学校経営を推進する。</p> <p>1 Challenge (挑戦を支える学校経営) 子ども一人一人の挑戦する気持ちを大切にし、視覚障害教育の専門性を活かしながら主体的に学ぶことのできる学習環境を整備し、子どもたちの挑戦を支える学校経営を推進する。</p> <p>2 Collaborate (協働を基盤とした学校経営) 教職員一人一人が学校運営の主体としての参画意識をもった校内組織の連携を強化するとともに、業務量を適正化し、家庭・地域・関係機関と協働した学校経営を推進する。</p> <p>3 Communicate (信頼と安全を築く学校経営) 教職員間及び家庭・地域との適切な情報共有と意思疎通を図るとともに、教務・舍務・事務の連携、家庭・地域との協働による危機管理体制の構築を通して、安全・安心な学校経営を推進する。</p> <p>4 Create (未来を創造する学校経営) 視覚障害教育のセンター校として、地域諸学校と連携した通級指導の実践やインクルーシブ教育の推進を図り、地域と共に新たな教育の在り方を創造し、その成果を広く還元できる学校経営を推進する。</p>

【令和8年度の重点目標】
視覚障害教育の専門性を活かし、体験や実感を通して、
子ども一人一人の学びを深め・広げる授業づくりを推進する

令和8年度の重点	
教育の重点	経営の重点
<p>○確かな学びの実現 (授業改革・指導改善) 体験・実感を通して学びの意味づけを図り、子どもたちの確かな資質・能力の育成につながる授業づくりを推進する。キャリア教育の視点を基盤に、学びを生活や将来につなげ、確実な習得と定着を推進する。</p> <p>○教育課程の編成・実施 学習指導要領や各法令等を踏まえた適切な教育課程の編成、実施に努め、子どもたちの確かな資質・能力の育成を図る。</p> <p>○安全・安心な学校づくり 幼児児童生徒の発達段階に応じた防災教育の充実と、よりよい人間関係を築くための道德教育の実践、生徒指導の充実を図る。</p> <p>○地域との連携・協働 (Win-Win) 地域資源・地域人材を活用した学習活動や学校行事の一層の充実と、地域に貢献できる教育活動の推進を図る。</p>	<p>○確かな学びの実現 (授業改革・指導改善) 授業改革・指導改善を核とした、体験・実感を活かした学びの実現を図る教育課程の編成や学習環境の構築を推進する。キャリア教育の視点を基盤とした評価の在り方や振り返り等、組織的な取組と研修体制の充実を図る。</p> <p>○教育課程の編成・実施 確かな資質・能力の育成に向けた教科横断的な視点による教育課程の編成・実施を推進する。</p> <p>○安全・安心な学校づくり 「一日防災学校」を活用した危機管理体制の一層の整備と、心理的安全性のもと、職員相互に信頼し合い、安心して働くことのできる職場環境を構築する。(ウェルビーイング)</p> <p>○地域との連携・協働 (Win-Win) 学校運営協議会と連携・協働した学習活動の充実や、教育活動を活用した地域に貢献できる取組を推進する。</p>